

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成23年10月28日(金)

研究課題	クニマスの生態解明及び増養殖に関する研究	
研究期間	平成24年度～26年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	4.6
	研究目的の妥当性	4.4
	研究内容の合理性・新規性	4.0
	研究予算の妥当性	4.0
	目的達成の可能性	3.8
	期待される研究成果	4.4
	予備研究の状況	3.6
	総合評点	4.1
<p>70年前に絶滅したと思われていたクニマスが、昨年12月に西湖で発見された。クニマスが現存するのは山梨県だけであり、早急な生態調査と保護が求められている中、本研究は山梨県しかできないタイムリーな研究であり、その成果が大いに期待される。研究内容は、実用研究ではあるが、アカデミックな研究となることが望まれる。クニマスの生態が不明な中、見分けが付きにくい近縁種であるヒメマスとの相互関係が解明されれば学術的にも高い評価が得られる。これまでのヒメマス研究の延長でもあり、目標達成の可能性が高い。また、魚類で開発されて間もない借り腹技術などによる人工繁殖が成功すれば大きな成果が期待できる。なお、山から西湖に流入する腐食物など養分の解明も検討する必要がある。</p>		